

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成18年3月に開設してからの理念であったので、ホーム独自の理念に変えて新しいものにしようと職員で検討中である。	○	今年から地域密着型サービスの役割もあるので新しい理念に期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、職員採用時や月1回の職員会議の時に理念を伝えている。また、職員は、名札の裏に理念を入れ実践に日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、ミニバレー大会や敬老会、会合など自治会の催しに利用者也参加して地域の人々と交流を行っている。ホームの施設を地区の会合等に提供し相互関係ができています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は全職員で行った。前回の評価では、歯みがき粉が利用者の手の届く所にあつたので、棚を設置して取れないように改善した。		

宮崎県宮崎市 グループホームうしたに将優館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の外部評価の結果を公表し運営推進会議で出た意見等を検討してホームの中で生かしている。また、運営推進会議に全職員参加している。家族で参加したい方は参加可能である。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	記録の課題などについて市役所の担当職員、他の事業所を含めて意見交換会を行いサービスの質の向上に努めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	職員の異動については、ホームの掲示板に顔写真を掲示して利用者に知らせている。家族の来訪時に利用者の生活状況など知らせている。しかし、金銭出納簿は家族の申し出によって確認されていた。		金銭出納簿は、家族の希望により確認されているが、これからは、定期的な報告と確認印を頂くことで、より透明性を確保し家族の信頼を得てほしい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の時、職員は席を外して民生委員が入り意見や不満等を聞いている。また、家族の要望について、個別に連絡ノートを作り要望事項等について記入してあった場合、職員で検討したことを記入して返している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動については、ホームの掲示板に顔写真を掲示して利用者に知らせている。また、支障のない方には個別に説明している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、外部研修など職員の希望や経験年数により派遣し報告書を作成している。参加しなかった職員に対しては職員会議で復命している。また、新人研修も計画され実施している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症高齢者グループホーム連絡協議会等へ参加して研修や職員との意見交換等を行っている。また、他のホームに見学に行きサービスの質の向上を目指している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学に来て頂き説明して納得して入居してもらっている。利用者はホームの近くの方が多く、本人、家族と顔なじみであり安心感がある。また、体験入居もできるようになっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	おやつ作りや菜園の作業の時、利用者から作り方や作業の違いを指摘されたり、作業中に腰を痛めた職員に対して利用者より職員のことをいたわる会話があった。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとり意向を聞き、「散歩がしたい」といわれればできる限りその時に実施している。把握が困難な場合は、家族の来訪時に聞き納得した生活ができるように支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、職員から情報収集して介護計画書を作成している。しかし、カンファレンスなど会議を開いて職員間で話し合いが行われていない。	○	介護計画を作成して、職員会議の中で検討してほしい。介護計画作成時、家族・利用者・職員を交えた検討会がなされ、それぞれの意見が反映できた介護計画になるよう取り組んでほしい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しの時、本人、家族、職員にモニタリングを行い見直しを行っている。しかし、介護計画に基づいたケア計画がなかったり、職員間のカンファレンス等で検討の機会がなかった。	○	介護計画の見直しの時、職員会議の中で検討して、ケア計画についても検討してほしい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	月初めに行事を計画する時、墓参り、温泉など個人や家族の希望や要望を取り入れている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医になっている。受診は職員が対応している。夜間、祝日も受診可能である。歯科受診は、家族同行となっているが、不可能な時は職員が行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期について、入居時に施設長から本人、家族に説明し意向を聞いている。職員に対しては、採用時に方針について説明して共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法について、母体法人の病院のスタッフが講師になりデイサービスと合同で研修を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が「きょう散歩に行きたい」と言われれば直ぐに対応し、「夜間入浴がしたい」と言われれば職員の勤務体制を整えて対応できる体制になっている。		

宮崎県宮崎市 グループホームうしたに将優館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは毎月決まっているが、利用者の希望があればメニューを入れることができる。また、皿洗いやおやつ作りを職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日できる。希望があれば夜間入浴の体制はある。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アロママッサージや散歩、ガーデニングを行っている。希望者は週3回デイサービスに行って音楽療法、レク活動などに参加している。また、園芸では、スイカ、ジャガイモ、ピーマンを作り収穫して食材として食卓にあげられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は週1回から2回、買い物は月3回ある。これからは、外食を月1回行う計画がある。		一人ひとりの意向に合わせた外出の支援もさらに充実してほしい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は、日中かけていない。車いすの方が玄関の外に出ることがあるが一緒に出て対応している。また、自治会長を通じて地域住民の方に見守りのことを話している。		

宮崎県宮崎市 グループホームうしたに将優館

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者を含めて火災訓練を行っている。今年度は、地元消防団や地域の方も含めて一緒に訓練の計画がある。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量をチェックしている。毎月1回、利用者の希望も聞き調理と職員が話し合いメニューを決めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓がありやわらかい光になるように配慮されている。利用者が書かれた書道、油絵が飾られている。また、電話機が設置されていて、利用者が自由に自宅や家族などにかけるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたたんすや寝具、仏壇や家族の写真など部屋に持ち込まれて利用者の居心地のよさに配慮されている。		

※  は、重点項目。